

皮膚欠損用創傷被覆材一覧表

SZPA

◇本資料は作成年月日時点の情報に基づき作成した、「保険請求可能な皮膚欠損用創傷被覆材」をまとめた一覧表です。
◇表現は一部簡略化しています。最終確認は必ず電子添文等にてお願いします。

2024年12月26日

スズケングループ(SDIC)作成

◆皮膚欠損用創傷被覆材は、真皮以上の深度を有する皮膚欠損部位に対して創傷治癒の促進、創傷面保護及び疼痛軽減を目的に使用されるものであり、
構造、使用目的により、①真皮に至る創傷用、②皮下組織に至る創傷用(標準型・異形型)、③筋・骨に至る創傷用に区分されます。

管理区分	機能区分	一般的名称	材質	商品名	会社名
管理医療機器	真皮に至る創傷用	局所管理親水性ゲル化創傷被覆・保護材	親水性メンブラン	ベスキチンW	ニプロ
				ベスキチンW(SP)	
		局所管理ハイドロゲル創傷被覆・保護材	ハイドロコロイド	アブソキュア-サジカル ※中止	日東電エ-ニトムズ
				テガダーム ハイドロコロイド ライト ※中止	スリーエムジャパン
				デュオアクティブ ET	コンバテックジャパン
				レプリケア ET	スミス・アンド・ネフュー
			ハイドロジェル	ビューゲル	ニチバン-大鵬薬品工業
		局所管理フォーム状創傷被覆・保護材	ポリウレタンフォーム	Sorbact アブソブドレッシング	センチュリーメディカル
				Sorbact サージカルドレッシング	
				ソフトフォーム ドレッシング	スミス・アンド・ネフュー
				ハイドロサイト薄型	
				メビレックス ライト	メンリッケヘルスケア
				メビレックス ボーダー ライト	
				メビレックス ボーダー フレックス ライト	
		抗菌性創傷被覆・保護材	親水性ファイバー	アクアセルAg BURN	コンバテックジャパン
			ハイドロコロイド	バイオヘッピンAg・ライト	アルケア
高度管理医療機器	皮下組織に至る創傷用 標準型	深部体腔創傷被覆・保護材	コットン	Sorbact リボンガーゼ	センチュリーメディカル
			セルロースアセテート	Sorbact コンプレス	
		二次治癒親水性ゲル化創傷被覆・保護材	高吸収性ポリマー	Sorbact スーパーアブソブ	センチュリーメディカル
			親水性ファイバー	アクアセル ※中止	コンバテックジャパン
				アクアセル フォーム	
				カルトスタット	スミス・アンド・ネフュー
			親水性メンブラン	アルゴダーム トリオニック	
				ベスキチンW-A	ニプロ
		二次治癒ハイドロゲル創傷被覆・保護材	ハイドロコロイド	アブソキュア-ウンド ※中止	日東電エ-ニトムズ
				コムフィール プラス	コロプラスト
				テガダーム ハイドロコロイド ※中止	スリーエムジャパン
				デュオアクティブ ※中止	コンバテックジャパン
				デュオアクティブ CGF	
				レプリケア ウルトラ	スミス・アンド・ネフュー
				ATKパッド	オカモト
		二次治癒フォーム状創傷被覆・保護材	ポリウレタンフォーム	Sorbact フォームドレッシング	センチュリーメディカル
				テガダーム シリコンフォーム ドレッシング (ボーダータイプ) ※中止	スリーエムジャパン
				テガダーム フォーム ドレッシング ※中止	
				パイアテン	コロプラスト
				パイアテン シリコン+	
				ハイドロサイト プラス	スミス・アンド・ネフュー
				ハイドロサイト AD プラス	
				ハイドロサイト AD ジェントル	
				ハイドロサイト ライフ	メンリッケヘルスケア
				メビレックス	
				メビレックス ボーダー II	
				メビレックス ボーダー フレックス	

皮膚欠損用創傷被覆材一覧表

SZPA

◇本資料は作成年月日時点の情報に基づき作成した、「保険請求可能な皮膚欠損用創傷被覆材」をまとめた一覧表です。
◇表現は一部簡略化しています。最終確認は必ず電子添文等にてお願いします。

2024年12月26日

スズケングループ(SDIC)作成

◆皮膚欠損用創傷被覆材は、真皮以上の深度を有する皮膚欠損部位に対して創傷治癒の促進、創傷面保護及び疼痛軽減を目的に使用されるものであり、
構造、使用目的により、①真皮に至る創傷用、②皮下組織に至る創傷用(標準型・異形型)、③筋・骨に至る創傷用に区分されます。

管理 区分	機能 区分		一般の名称	材質	商品名	会社名
高度 管理 医療 機器	皮下組織に至る創傷用	標準型	抗菌性 創傷被覆・保護材	親水性ファイバー	アクアセルAg ※中止	コンパテックジャパン
					アクアセルAg 強化型 ※中止	
					アクアセルAg Extra ※中止	
					アクアセルAg アドバンテージ	
					アクアセルAg アドバンテージ リボン	
					アクアセルAg フォーム	
			ハイドロコロイド	バイオヘッシブAg	アルケア	
			ポリウレタンフォーム	ハイドロサイトジェントル銀	スミス・アンド・ネフュー	
				メピレックス Ag	メンリッケヘルスケア	
				メピレックス ボーダー Ag		
	異形型	二次治癒ハイドロゲル 創傷被覆・保護材		ハイドロジェル	Sorbact ジェルドレッシング	センチュリーメディカル
			イントラサイト ジェル システム		スミス・アンド・ネフュー	
			グラニューゲル		コンパテックジャパン	
		抗菌性 創傷被覆・保護材	ハイドロジェル	プロントザン	ビー・ブラウンエースクラップ	
	筋・骨に至る創傷用	深部体腔 創傷被覆・保護材	親水性フォーム	ベスキチンF(D)	ニプロ	
				ベスキチンF(N)		

<参考資料> 各製品電子添文、インタビューフォーム、パンフレット、各社問い合わせ窓口、
創傷被覆・保護材等一覧(一般社団法人日本医療機器テクノロジー協会 創傷被覆材部会編 2024年6月1日改訂32版)

SDICM-001 (SZ)

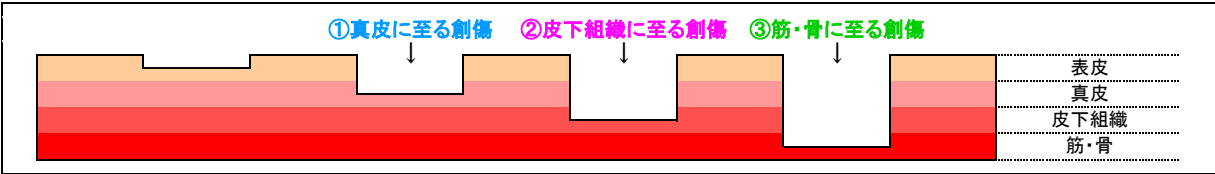
皮膚欠損用創傷被覆材一覧表

◇本資料は作成年月日時点の情報に基づき作成した、「保険請求可能な皮膚欠損用創傷被覆材」をまとめた一覧表です。
◇表現は一部簡略化しています。最終確認は必ず電子添文等にてお願いします。
◇電子添文に「使用方法(固定、交換時期)」に関する情報が載っていないものについては、「-」と記載しています。

2024年12月26日
スズケングループ(SDIC)作成

◆皮膚欠損用創傷被覆材は、真皮以上の深度を有する皮膚欠損部位に対して創傷治癒の促進、創傷面保護及び疼痛軽減を目的に使用されるものであり、構造、使用目的により、①真皮に至る創傷用、②皮下組織に至る創傷用(標準型・異形型)、③筋・骨に至る創傷用に区分されます。

＜傷の深さに応じた機能区分＞



＜機能区分の定義＞

①真皮に至る創傷用		真皮に至る創傷に使用されるものであること。
②皮下組織に至る創傷用	標準型	次のいずれにも該当すること。 ア 皮下組織に至る創傷に使用されるものであること。 イ シート、ロープ、リボン状等の標準形状であること。
	異形型	次のいずれにも該当すること。 ア 皮下組織に至る創傷に使用されるものであること。 イ 顆粒状、ペースト状、ジェル状等の標準形状以外の形状であること。
③筋・骨に至る創傷用		筋・骨に至る創傷に使用されるものであること。

保医発0304第9号(令和4年3月4日)

＜皮膚欠損用創傷被覆材の保険請求価格＞

分野名	皮膚欠損用創傷被覆材			
機能区分	①真皮に至る創傷用	②皮下組織に至る創傷用		③筋・骨に至る創傷用
		標準型	異形型	
略称	被覆材・真皮用	被覆材・皮下組織用(標準)	被覆材・皮下組織用(異形)	被覆材・筋骨用
保険償還価格	6円/cm ²	10円/cm ²	35円/g	25円/cm ²

※保険算定面積は各製品ごとにご確認ください。厚生労働省告示第58号(令和4年3月4日)

①真皮に至る創傷用

管理区分		管理医療機器	
一般的名称		局所管理親水性ゲル化創傷被覆・保護材	
材質		親水性メンブラン	
製品名		ベスキチンW	ベスキチンW(SP)
会社名		ニプロ	
成分		キチン(ポリ-N-アセチルグルコサミン)	キチン(ポリ-N-アセチルグルコサミン)
使用方法	固定	◆ガーゼ等をあてて軽く圧迫包帯する ◆関節等の可動部あるいは幼児に使用する場合は、スキンテープ等で周辺を固定する	◆ガーゼ等をあてて軽く圧迫包帯する ◆関節等の可動部あるいは幼児に使用する場合は、スキンテープ等で周辺を固定する
	交換時期	◆治療が終了するまで本品に剥離等の外的な強い力を加えない	◆治療が終了するまで本品に剥離等の外的な強い力を加えない ◆滲出液が多い場合は適宜交換する
製品サイズ		◆6cm×10cm ◆10cm×12cm ◆12cm×24cm ◆5cm×5cm	◆6cm×10cm ◆10cm×12cm ◆12cm×24cm ◆20cm×30cm

◎各製品の詳細は、メーカー作成の添付文書・パンフレット等でご確認ください。

皮膚欠損用創傷被覆材一覧表

◇本資料は作成年月日時点の情報に基づき作成した、「保険請求可能な皮膚欠損用創傷被覆材」をまとめた一覧表です。
◇表現は一部簡略化しています。最終確認は必ず電子添文等にてお願いします。
◇電子添文に「使用方法(固定、交換時期)」に関する情報が載っていないものについては、「-」と記載しています。

SZPA
2024年12月26日
スズケングループ(SDIC)作成

①真皮に至る創傷用

管理区分		管理医療機器		
一般的名称		局所管理ハイドロゲル創傷被覆・保護材		
材質		ハイドロコロイド		ハイドロジェル
製品名		デュオアクティブ ET	レプリケア ET	ビューゲル
会社名		コンバテックジャパン	スミス・アンド・ネフュー	ニチバン-大鵬薬品工業
成分		ゼラチン、ペクチン、カルボキシメチルセルロースナトリウム、ポリイソブチレン、スチレン・イソブレン・スチレンブロック共重合体、流動パラフィン、ロジンエステル等	スチレン・イソブレン・スチレンブロック共重合体、カルボキシメチルセルロースナトリウム等	ポリエチレン、ポビドン、ポリビニルアルコール、フェノキシエタノール、精製水
使用方法	固定	◆本品が剥がれるおそれがある場合は、補強のためにテープを本品の周りに貼って固定する	-	◆医療用テープ等で本品と皮膚を固定する
	交換時期	◆滲出液の漏れが起こる前に新しい本品と交換する	◆本品は連続7日間まで貼付できるが、滲出液が漏れそうな場合や、ドレッシングが剥がれそうな場合には適宜交換する	◆滲出液が漏れそうな状態になっているときを目安に本品を交換する ◆観察時に滲出液が本品から漏れていたら、直ちに交換する ◆連続して1週間程度使用したとき
製品サイズ		◆5cm×10cm ◆7.5cm×7.5cm ◆10cm×10cm ◆15cm×15cm ◆5cm×20cm ◆3.8cm×4.4cm	◆5cm×7cm ◆9cm×14cm ◆15cm×20cm ◆10cm×10cm	◆5cm×10cm ◆10cm×10cm ◆15cm×20cm

①真皮に至る創傷用

管理区分		管理医療機器	
一般的名称		局所管理フォーム状創傷被覆・保護材	
材質		ポリウレタンフォーム	
製品名		Sorbact アブソーブドレッシング	Sorbact サージカルドレッシング
会社名		センチュリーメディカル	
成分		DACC添加セルロースアセテート、コットン、ビスコース／ポリエステル、セルロース、ビスコースレーヨン	DACC添加セルロースアセテート、ビスコース／ポリプロピレン／ポリエステル不織布、アクリルポリマー付きポリウレタン
使用方法	固定	◆本品を適宜サージカルテープ等で固定する	-
	交換時期	◆創、周辺皮膚、滲出液の状態にもよるが、7日間を限度とし新しいものと交換する	◆創、周辺皮膚、滲出液の状態にもよるが、7日間を限度とし新しいものと交換する
製品サイズ		◆7cm×9cm ◆10cm×10cm ◆10cm×20cm	◆5cm×7.2cm ◆8cm×10cm ◆8cm×15cm ◆10cm×20cm ◆10cm×25cm ◆10cm×30cm ◆10cm×35cm

◎各製品の詳細は、メーカー作成の添付文書・パンフレット等でご確認ください。

皮膚欠損用創傷被覆材一覧表

◇本資料は作成年月日時点の情報に基づき作成した、「保険請求可能な皮膚欠損用創傷被覆材」をまとめた一覧表です。
◇表現は一部簡略化しています。最終確認は必ず電子添文等にてお願いします。
◇電子添文に「使用方法(固定、交換時期)」に関する情報が載っていないものについては、「-」と記載しています。

SZPA
2024年12月26日
スズケングループ(SDIC)作成

①真皮に至る創傷用

管理区分		管理医療機器	
一般的名称		局所管理フォーム状創傷被覆・保護材	
材質		ポリウレタンフォーム	
製品名		ソフトフォーム ドレッシング	ハイドロサイト 薄型
会社名		スミス・アンド・ネフュー	
成分		ポリウレタン、シリコーン	ポリウレタンポリマー
使用方法	固定	◆必要な場合は、包帯や各種固定材にて固定する	◆必要な場合は、四辺をテープで固定する
	交換時期	◆創部とその周辺皮膚の状態、滲出液の量に応じて適宜交換する ◆滲出液の漏れが起こる前に交換する ◆1日から数日間おきに交換し、少なくとも週1回は交換する	◆滲出液の量に応じて適宜交換する ◆滲出液の漏れが起こる前に交換する ◆1日から数日間おきに交換し、少なくとも週1回は交換する
製品サイズ		◆15cm×30cm	◆5cm×6cm ◆10cm×10cm ◆15cm×15cm ◆15cm×20cm

①真皮に至る創傷用

管理区分		管理医療機器		
一般的名称		局所管理フォーム状創傷被覆・保護材		
材質		ポリウレタンフォーム		
製品名		メビレックス ライト	メビレックス ボーダー ライト	メビレックス ボーダー フレックス ライト
会社名		メンリッケヘルスケア		
成分		ポリウレタン、シリコーン	ポリウレタン、シリコーン、不織布	ポリウレタン、シリコーン、不織布
使用方法	固定	◆固定が必要な場合、包帯や各種固定材にて固定する	-	-
	交換時期	◆滲出液の漏れが起こる前に交換する ◆7日間を限度として交換する ◆治療法を変更した後、最初は一時的に滲出液の増加を引き起こす可能性があるため、その場合はより短期間で交換する	◆7日間連続して被覆出来るが、背面フィルムを観察し滲出液が本品のパッドの端まで広がる前に交換する ◆治療法を変更した後、最初は一時的に滲出液の増加を引き起こす可能性があるため、その場合はより短期間で交換する	◆7日間連続して被覆出来るが、背面フィルムを観察し滲出液が本品のパッドの端まで広がる前に交換する ◆治療法を変更した後、最初は一時的に滲出液の増加を引き起こす可能性があるため、その場合はより短期間で交換する
製品サイズ		◆6cm×8.5cm ◆10cm×10cm ◆15cm×15cm ◆20cm×50cm	◆5cm×12.5cm ◆7.5cm×7.5cm ◆10cm×10cm ◆15cm×15cm	◆5cm×12.5cm ◆7.5cm×7.5cm ◆10cm×10cm ◆15cm×15cm

◎各製品の詳細は、メーカー作成の添付文書・パンフレット等でご確認ください。

皮膚欠損用創傷被覆材一覧表

◇本資料は作成年月日時点の情報に基づき作成した、「保険請求可能な皮膚欠損用創傷被覆材」をまとめた一覧表です。
◇表現は一部簡略化しています。最終確認は必ず電子添文等にてお願いします。
◇電子添文に「使用方法(固定、交換時期)」に関する情報が載っていないものについては、「-」と記載しています。

SZPA
2024年12月26日
スズケングループ(SDIC)作成

①真皮に至る創傷用

管理区分		高度管理医療機器	
一般的名称		抗菌性創傷被覆・保護材	
材質		親水性ファイバー	ハイドロコロイド
製品名		アクアセルAg BURN	バイオヘッспAg・ライト
会社名		コンバテックジャパン	アルケア
成分		カルボキシメチルセルロースナトリウム銀、 ナイロン66	スチレン-イソプレン-スチレン共重合体、 液状イソプレンゴム、ポリイソブチレン、 ブチルゴム、脂環族飽和炭化水素樹脂、 水添ロジンエステル、 カルボキシメチルセルロースナトリウム、 ペクチン、ゼラチン、スルファジアジン銀
使用方法	固定	◆必要に応じて本品の上から吸収性パッドなどの 二次ドレッシングで覆い、包帯などで固定する	◆関節部位など剥がれやすい場所に貼付する場合は、 必要に応じて粘着テープ等で周囲を固定する
	交換時期	◆臨床上必要と判断された場合、あるいは滲出液の 飽和や漏れ、本品が乾燥し脱落した場合は、 本品を交換する	◆滲出液の漏れや周囲の剥がれが起きた(又は 起きそうな)時、もしくは1枚の貼付期間が7日間 を経過した時には、速やかに交換する
製品サイズ		◆17cm×15cm ◆23cm×30cm ◆54cm×45cm ◆23cm×100cm	◆6cm×6cm ◆10cm×10cm ◆15cm×15cm ◆20cm×20cm

②皮下組織に至る創傷用(標準型)

管理区分		高度管理医療機器		
一般的名称		深部体腔創傷被覆・保護材	二次治癒親水性ゲル化創傷被覆・保護材	
材質		コットン	セルロースアセテート	高吸収性ポリマー
製品名		Sorbact リボンガーゼ	Sorbact コンプレス	Sorbact スーパーアブソープ
会社名		センチュリーメディカル		
成分		DACC添加コットン、ポリエチレン	DACC添加セルロースアセテート	DACC添加セルロースアセテート、 ポリアミド系接着剤、ポリプロピレン不織布、 不織布／高吸収ポリマー、ポリエチレン不織布
使用方法	固定	◆本品を適宜サージカルテープ等で固定する	◆本品を適宜二次ドレッシングで固定する	◆本品をテープもしくは包帯で固定する
	交換時期	◆創、周辺皮膚、滲出液の状態にもよるが、 7日間を限度とし新しいものと交換する	◆創、周辺皮膚、滲出液の状態にもよるが、 7日間を限度とし新しいものと交換する	◆創、周辺皮膚、滲出液の状態にもよるが、 7日間を限度とし新しいものと交換する ◆本品が飽和状態になっている場合はそれ 以前に交換する
製品サイズ		◆1cm×50cm ◆2cm×50cm ◆5cm×200cm ◆10cm×200cm	◆(折畳時)4cm×6cm、(展開時)11cm×15cm ◆(折畳時)7cm×9cm、(展開時)17cm×28cm	◆10cm×10cm ◆10cm×20cm ◆20cm×20cm ◆20cm×30cm

◎各製品の詳細は、メーカー作成の添付文書・パンフレット等でご確認ください。

皮膚欠損用創傷被覆材一覧表

◇本資料は作成年月日時点の情報に基づき作成した、「保険請求可能な皮膚欠損用創傷被覆材」をまとめた一覧表です。
◇表現は一部簡略化しています。最終確認は必ず電子添文等にてお願いします。
◇電子添文に「使用方法(固定、交換時期)」に関する情報が載っていないものについては、「-」と記載しています。

SZPA
2024年12月26日
スズケングループ(SDIC)作成

②皮下組織に至る創傷用(標準型)

管理区分		高度管理医療機器		
一般的名称		二次治癒親水性ゲル化創傷被覆・保護材		
材質		親水性ファイバー		
製品名		アクアセル フォーム	カルトスタート	アルゴダーム トリオニック
会社名		コンバテックジャパン		スミス・アンド・ネフュー
成分		ポリウレタン、ポリアミド、CMCナトリウム、シリコーン(粘着式のみ)	アルギン酸塩	アルギン酸カルシウム、亜鉛、マンガン、界面活性剤、クロロフィリン
使用方法	固定	◆非粘着式や、粘着式をカットして使用する場合は、包帯やテープで本品を固定する	◆ガーゼドレッシング、フィルムドレッシング等をセカンドドレッシングに選択し、本品の上から被覆して固定する	◆本品を二次ドレッシングで覆い、固定する
	交換時期	◆臨床的に必要と判断される場合は(例:漏出、出血、疼痛の悪化、感染の疑い)、本品を交換する	◆創面に接触している表面から血液・滲出液が引き続き出てくる場合には、新たに重ね貼付するか、交換する ◆創面に接触している部分がゲル状化し、血液・滲出液が出てこない状態に安定している時には、2〜3日ごとの交換でよい	◆創部の状態から創感染に注意を払う必要がある場合、毎日交換する。 ◆創感染の疑いがない場合、二次ドレッシングに滲出液の広がりが見られた時点で、交換する ◆創部が改善するに連れて適宜交換する
製品サイズ		<粘着式> ◆8cm×8cm ◆10cm×10cm ◆12.5cm×12.5cm ◆17.5cm×17.5cm ◆21cm×21cm <粘着式 踵部用> ◆19.8cm×14cm <粘着式 仙骨部用> ◆20cm×16.9cm <非粘着式> ◆5cm×5cm ◆10cm×10cm ◆15cm×15cm ◆20cm×20cm ◆15cm×20cm	◆2g ◆5cm×5cm ◆7.5cm×12cm ◆10cm×20cm ◆15cm×25cm	<シートタイプ> ◆5cm×5cm ◆9.5cm×9.5cm ◆10cm×20cm <ローブタイプ> ◆30cm, 2g

②皮下組織に至る創傷用(標準型)

管理区分		高度管理医療機器		
一般的名称		二次治癒親水性ゲル化創傷被覆・保護材	二次治癒ハイドロゲル創傷被覆・保護材	
材質		親水性メンブラン	ハイドロコロイド	
製品名		ベスキチンW-A	コムフィール プラス	デュオアクティブ CGF
会社名		ニプロ	コロブラスト	コンバテックジャパン
成分		キチン(ポリ-N-アセチルグルコサミン)	カルボキシメチルセルロース、ポリウレタン等	ゼラチン、ペクチン、カルボキシメチルセルロースナトリウム、ポリイソブチレン、スチレン・イソブレン・スチレンブロック共重合体、流動パラフィン、ロジンエステル等
使用方法	固定	-	-	◆本品が剥がれるおそれのある場合は、補強のためにテープを本品の周りに貼って固定する
	交換時期	◆滲出液が多い場合は毎日交換し、改善に向かい、滲出液が少なくなれば交換時期を適宜延長する	◆滲出液が漏れ出ている場合、滲出液が製品の端近くまで到達している場合、臨床的徴候がある場合、若しくは貼付後7日経過した場合には製品を除去する	◆本品が創部・患部より剥がれた場合は、新しいものに交換する
製品サイズ		◆5cm×6cm ◆10cm×10cm	◆4cm×6cm ◆10cm×10cm ◆15cm×15cm ◆20cm×20cm	◆10cm×10cm ◆15cm×15cm ◆15cm×20cm ◆20cm×20cm ◆20cm×30cm

◎各製品の詳細は、メーカー作成の添付文書・パンフレット等でご確認ください。

皮膚欠損用創傷被覆材一覧表

◇本資料は作成年月日時点の情報に基づき作成した、「保険請求可能な皮膚欠損用創傷被覆材」をまとめた一覧表です。
◇表現は一部簡略化しています。最終確認は必ず電子添文等にてお願いします。
◇電子添文に「使用方法（固定、交換時期）」に関する情報が載っていないものについては、「-」と記載しています。

SZPA
2024年12月26日
スズケングループ（SDIC）作成

②皮下組織に至る創傷用（標準型）

管理区分		高度管理医療機器		
一般的名称		二次治癒ハイドロゲル創傷被覆・保護材		二次治癒フォーム状創傷被覆・保護材
材質		ハイドロコロイド		ポリウレタンフォーム
製品名		レプリケア ウルトラ	ATK/パッド	Sorbact フォーム ドレッシング
会社名		スミス・アンド・ネフュー	オカモト	センチュリーメディカル
成分		スチレン・イソプレン・スチレンブロック共重合体、カルボキシメチルセルロースナトリウム等	還元澱粉糖化物、アルギン酸ナトリウム	DACC添加セルロースアセテート、親水性ポリウレタン
使用方法	固定	-	◆本品の四方のシール辺に合わせて医療用テープを貼り、しっかり固定する	◆本品を適宜サージカルテープ等で固定する
	交換時期	◆本品は連続7日間まで貼付できるが、滲出液が漏れそうな場合や、ドレッシングが剥がれそうな場合には適宜交換する	①以下に該当する場合は本品を交換する ◆吸収した滲出液が袋内の一方に偏るように流動してきた場合（最大吸水量の目安） ◆創部の状態から創感染に注意を払う場合 ◆ポリビニルアルコールフィルムが破れ、ゲル状混合物が外部へ漏れている場合 ◆滲出液を吸収したゲル状混合物が変色または濁った場合 ◆ポリビニルアルコールフィルムが変色した場合 ②以下の場合は頻繁に適用部位を観察し、上記①に相当する場合は交換する ◆患者がかぶれやすい体質の場合 ◆創と密着状態を維持することが難しい場合 ◆創部周囲に荷重や摩擦が生じる場合 ③上記以外の場合は、最長で7日間を目安に交換する	◆滲出液の状態にもよるが、7日間を限度とし新しいものと交換する。
製品サイズ		◆10cm×10cm	◆9cm×13cm	◆10cm×10cm ◆15cm×15cm ◆10cm×20cm

②皮下組織に至る創傷用（標準型）

管理区分		高度管理医療機器		
一般的名称		二次治癒フォーム状創傷被覆・保護材		
材質		ポリウレタンフォーム		
製品名		パイアテン	パイアテン シリコン+	ハイドロサイト プラス
会社名		コロブラスト		スミス・アンド・ネフュー
成分		ポリウレタン	シリコン、ポリウレタン	ポリウレタン
使用方法	固定	◆二次包帯または圧迫包帯で固定する	-	◆〈標準タイプ〉 本品の周囲をサージカルテープ等で固定する ◆〈ヒールタイプ〉 本品の周囲を包帯やサージカルテープ等で固定する
	交換時期	◆臨床的に交換が必要であると判断される場合、または滲出液が本品の端までしみ出している場合には、交換する	◆臨床的に必要とされる場合、または滲出液がフォーム部の端まで広がっている場合には、交換する	◆創部分からの滲出液が多く、漏れが予想される場合には、適宜交換する ◆滲出液の漏れがない場合には、本品の背面層から滲出液の吸収状態が観察できるので、端から1.5cmのところまで滲出液が広がった時にドレッシングを交換する ◆貼付期間は滲出液の吸収状態に関わらず7日間を限度とし、新しいドレッシングに交換する
製品サイズ		◆5cm×7cm ◆10cm×10cm ◆10cm×20cm ◆15cm×15cm ◆20cm×20cm	◆7.5cm×7.5cm ◆10cm×10cm ◆12.5cm×12.5cm ◆15cm×15cm ◆17.5cm×17.5cm	〈標準タイプ〉 ◆5cm×5cm ◆10cm×10cm ◆10cm×20cm ◆20cm×20cm ◆40cm×70cm 〈ヒールタイプ〉 ◆13.5cm×10.5cm

◎各製品の詳細は、メーカー作成の添付文書・パンフレット等でご確認ください。

皮膚欠損用創傷被覆材一覧表

◇本資料は作成年月日時点の情報に基づき作成した、「保険請求可能な皮膚欠損用創傷被覆材」をまとめた一覧表です。
◇表現は一部簡略化しています。最終確認は必ず電子添文等にてお願いします。
◇電子添文に「使用方法(固定、交換時期)」に関する情報が載っていないものについては、「-」と記載しています。

SZPA
2024年12月26日
スズケングループ(SDIC)作成

②皮下組織に至る創傷用(標準型)

管理区分		高度管理医療機器		
一般的名称		二次治癒フォーム状創傷被覆・保護材		
材質		ポリウレタンフォーム		
製品名		ハイドロサイト AD プラス	ハイドロサイト AD ジェントル	ハイドロサイト ライフ
会社名		スミス・アンド・ネフュー		
成分		ポリウレタン	ポリウレタン、シリコーンゲル	ポリウレタン、シリコーンゲル
使用方法	固定	-	-	-
	交換時期	◆パッドの端から約2cmのところまで滲出液が広がった時を目安に交換する ◆滲出液の吸収状態に関わらず7日間を限度とし、新しいドレッシングに交換する ◆ハート型は5日間を限度として交換する	◆パッドの端から約1.5cmのところまで滲出液が広がった時を目安に交換する。 ◆滲出液の吸収状態に関わらず7日間を限度として交換する ◆仙骨用は5日間を限度として交換する	◆不織布超吸収パッドの50%以上が滲出液を吸収した時を目安に交換する ◆滲出液の吸収状態に関わらず最長7日間、仙骨部の場合は5日間を限度として交換する
製品サイズ		◆7.5cm×7.5cm ◆12.5cm×12.5cm	◆7.5cm×7.5cm <凹凸のある部位用> ◆10cm×10cm ◆17.1cm×17.9cm ◆12.5cm×12.5cm <仙骨用> ◆17.5cm×17.5cm ◆17.1cm×16.8cm ◆10cm×20cm ◆21.6cm×23cm	<標準型> <ヒール用> ◆12.9cm×12.9cm ◆25cm×25.2cm ◆15.4cm×15.4cm <仙骨用> ◆21cm×21cm ◆17.2cm×17.5cm ◆21.6cm×23cm

②皮下組織に至る創傷用(標準型)

管理区分		高度管理医療機器		
一般的名称		二次治癒フォーム状創傷被覆・保護材		
材質		ポリウレタンフォーム		
製品名		メビレックス	メビレックス ボーダーⅡ	メビレックス ボーダー フレックス
会社名		メンリッケヘルスケア		
成分		ポリウレタン、シリコーン	ポリウレタン、シリコーン、不織布	ポリウレタン、ポリエステル、ポリエチレンテレフタレート、オレフィン、セルロース、シリコーン、アクリル
使用方法	固定	◆固定が必要な場合、包帯や各種固定材にて固定する	-	-
	交換時期	◆滲出液の漏れが起こる前に交換する ◆7日間を限度として交換する ◆治療法を変更した後、最初は一時的に滲出液の増加を引き起こす可能性があるため、その場合はより短期間で交換する	◆7日間連続して被覆出来るが、背面フィルムを観察し滲出液が本品のパッドの端まで広がる前に交換する ◆治療法を変更した後、最初は一時的に滲出液の増加を引き起こす可能性があるため、その場合はより短期間で交換する	◆7日間連続して被覆出来るが、背面フィルムを観察し滲出液が本品のパッドの端まで広がる前に交換する ◆治療法を変更した後、最初は一時的に滲出液の増加を引き起こす可能性があるため、その場合はより短期間で交換する
製品サイズ		<標準タイプ> ◆10cm×10cm ◆15cm×15cm ◆20cm×20cm ◆20cm×50cm <楕円タイプ> ◆10cm×20cm <ヒールタイプ> ◆13cm×20cm	<標準タイプ> ◆7.5cm×7.5cm ◆10.0cm×10.0cm ◆10.0cm×20.0cm ◆10.0cm×30.0cm ◆12.5cm×12.5cm ◆15.0cm×15.0cm ◆15.0cm×20.0cm <形状付タイプ> ◆18.0cm×18.0cm <ヒールタイプ> ◆18.5cm×24cm <フレックスタイプ> ◆13.0cm×16.0cm ◆15.0cm×19.0cm	◆7.5cm×7.5cm ◆10.0cm×20.0cm ◆10.0cm×10.0cm ◆15.0cm×20.0cm ◆12.5cm×12.5cm ◆10.0cm×30.0cm ◆15.0cm×15.0cm

◎各製品の詳細は、メーカー作成の添付文書・パンフレット等でご確認ください。

皮膚欠損用創傷被覆材一覧表

◇本資料は作成年月日時点の情報に基づき作成した、「保険請求可能な皮膚欠損用創傷被覆材」をまとめた一覧表です。
◇表現は一部簡略化しています。最終確認は必ず電子添文等にてお願いします。
◇電子添文に「使用方法(固定、交換時期)」に関する情報が載っていないものについては、「-」と記載しています。

SZPA
2024年12月26日
スズケングループ(SDIC)作成

②皮下組織に至る創傷用(標準型)

管理区分		高度管理医療機器		
一般的名称		抗菌性創傷被覆・保護材		
材質		親水性ファイバー		
製品名		アクアセルAg アドバンテージ	アクアセルAg アドバンテージ リボン	アクアセルAg フォーム
会社名		コンバテックジャパン		
成分		カルボキシメチルセルロースナトリウム銀 (添加剤としてEDTA、BTCを含む)、リヨセル系	カルボキシメチルセルロースナトリウム銀 (EDTA、BTCを添加)、リヨセル系	ポリウレタン、ポリアミド、CMCナトリウム銀、 シリコーン(粘着式のみ)
使用方法	固定	◆本品の上から二次ドレッシングで覆い、 固定する	◆本品の上から二次ドレッシングで覆い、 固定する	◆非粘着式や、粘着式をカットして使用する場合は、 包帯やテープで本品を固定する
	交換時期	◆滲出液の漏れが起こる前、もしくは二次 ドレッシングの外側から滲出液の広がり が観察された時点で本品を交換する	◆滲出液の漏れが起こる前、もしくは二次 ドレッシングの外側から滲出液の広がり が観察された時点で本品を交換する	◆臨牀的に必要と判断される場合は(例:漏出、 出血、疼痛の悪化、感染の疑い)、本品を交換 する
製品サイズ		◆5cm×5cm ◆10cm×10cm ◆15cm×15cm ◆20cm×30cm	◆2cm×45cm	<粘着式> ◆8cm×8cm ◆10cm×10cm ◆12.5cm×12.5cm ◆17.5cm×17.5cm ◆21cm×21cm ◆25cm×30cm <粘着式 踵部用> ◆19.8cm×14cm□ <粘着式 仙骨部用> ◆20cm×16.9cm <非粘着式> ◆5cm×5cm ◆10cm×10cm ◆15cm×15cm ◆20cm×20cm ◆15cm×20cm

②皮下組織に至る創傷用(標準型)

管理区分		高度管理医療機器	
一般的名称		抗菌性創傷被覆・保護材	
材質		ハイドロコロイド	ポリウレタンフォーム
製品名		バイオヘッパAg	ハイドロサイト ジェントル 銀
会社名		アルケア	スミス・アンド・ネフュー
成分		スチレン-イソブレン-スチレン共重合体、 液状イソブレンゴム、ポリイソブチレン、 ブチルゴム、脂環族飽和炭化水素樹脂、 水添ロジンエステル、 カルボキシメチルセルロースナトリウム、 ペクチン、ゼラチン、スルファジアジン銀	ポリウレタン、シリコーンゲル、 スルファジアジン銀
使用方法	固定	◆関節部位など剥がれやすい場所に貼付する場合は、 必要に応じて粘着テープ等で周囲を固定する	-
	交換時期	◆滲出液の漏れや周囲の剥がれが起きた(又は 起きそうな)時、もしくは1枚の貼付期間が7日間 以上経過した時には、速やかに交換する	◆パッドの端から約1.5cmのところまで滲出液が 広がった時を目安に交換する。 ◆滲出液の吸収状態に関わらず7日間を限度 として交換する
製品サイズ		◆6cm×6cm ◆10cm×10cm ◆15cm×15cm ◆20cm×20cm <トライアングル> ◆10cm(底辺)×13cm(高さ) □ ◆15cm(底辺)×15cm(高さ)	◆7.5cm×7.5cm ◆10cm×10cm ◆12.5cm×12.5cm ◆17.5cm×17.5cm

◎各製品の詳細は、メーカー作成の添付文書・パンフレット等でご確認ください。

皮膚欠損用創傷被覆材一覧表

◇本資料は作成年月日時点の情報に基づき作成した、「保険請求可能な皮膚欠損用創傷被覆材」をまとめた一覧表です。
◇表現は一部簡略化しています。最終確認は必ず電子添文等にてお願いします。
◇電子添文に「使用方法(固定、交換時期)」に関する情報が載っていないものについては、「-」と記載しています。

SZPA
2024年12月26日
スズケングループ(SDIC)作成

②皮下組織に至る創傷用(標準型)

管理区分		高度管理医療機器	
一般的名称		抗菌性創傷被覆・保護材	
材質		ポリウレタンフォーム	
製品名		メピレックス Ag	メピレックス ボーダー Ag
会社名		メンリッケヘルスケア	
成分		ポリウレタン、銀、シリコーン	ポリウレタン、銀、不織布、シリコーン
使用方法	固定	◆固定が必要な場合、包帯や各種固定材にて固定する	-
	交換時期	◆滲出液の漏れが起こる前に交換する ◆7日間を限度として交換する ◆治療法を変更した後、最初は一時的に滲出液の増加を引き起こす可能性があるため、その場合はより短期間で交換する	◆7日間連続して被覆出来るが、背面フィルムを観察し滲出液が本品のパッドの端まで広がる前に交換する ◆治療法を変更した後、最初は一時的に滲出液の増加を引き起こす可能性があるため、その場合はより短期間で交換する
製品サイズ		＜標準タイプ＞ ◆10.0cm×10.0cm ◆15.0cm×15.0cm ◆20.0cm×20.0cm ◆20.0cm×50.0cm ＜楕円タイプ＞ ◆10.0cm×20.0cm	＜標準タイプ＞ ◆7.5cm×7.5cm ◆10.0cm×10.0cm ◆12.5cm×12.5cm ◆15.0cm×15.0cm ◆10.0cm×20.0cm ◆15.0cm×20.0cm ◆10.0cm×30.0cm ＜形状付タイプ＞ ◆18.0cm×18.0cm

◎各製品の詳細は、メーカー作成の添付文書・パンフレット等でご確認ください。

皮膚欠損用創傷被覆材一覧表

◇本資料は作成年月日時点の情報に基づき作成した、「保険請求可能な皮膚欠損用創傷被覆材」をまとめた一覧表です。
◇表現は一部簡略化しています。最終確認は必ず電子添文等にてお願いします。
◇電子添文に「使用方法(固定、交換時期)」に関する情報が載っていないものについては、「-」と記載しています。

SZPA
2024年12月26日
スズケングループ(SDIC)作成

②皮下組織に至る創傷用(異形型)

管理区分		高度管理医療機器		
一般的名称		二次治癒ハイドロゲル創傷被覆・保護材		
材質		ハイドロジェル		
製品名		Sorbact ジェルドレッシング	イントラサイト ジェル システム	グラニューゲル
会社名		センチュリーメディカル	スミス・アンド・ネフュー	コンバテックジャパン
成分		DACC添加セルロースアセテート、 ハイドロゲル (カルボキシビニルポリマー、プロピレングリコール)	カルボキシメチルセルロースナトリウム、 プロピレングリコール、精製水	ペクチン、 カルボキシメチルセルロースナトリウム、 プロピレングリコール、精製水
使用方法	固定	◆本品を適宜二次ドレッシングで固定する	◆本品の上を適当なドレッシングで被覆する	◆メッシュガーゼ又はフィルムドレッシング(閉鎖性ドレッシング)等をトップドレッシングとして選び、 本品の上から完全に創部を覆い固定する
	交換時期	◆創、周辺皮膚、滲出液の状態にもよるが、 7日間を限度とし新しいものと交換する	◆多量の壊死組織や滲出液がある場合には、 頻繁に交換する ◆肉芽形成期は、より長期の使用が可能となる が、少なくとも3日ごとに交換する	◆創部の状態から創感染に注意を要する場合は、 毎日本品を充てんしなおす ◆創感染の疑いがない場合、滲出液が漏れる前、 あるいは2〜3日を目安に充てんしなおす
製品サイズ		◆7.5cm×7.5cm (15g) ◆15cm×20cm (65g) ◆20cm×25cm (90g)	◆8g ◆15g ◆25g	◆15g

②皮下組織に至る創傷用(異形型)

管理区分		高度管理医療機器
一般的名称		抗菌性創傷被覆・保護材
材質		ハイドロジェル
製品名		プロントザン 創傷用ゲル
会社名		ピー・ブラウンエースクラップ
成分		ポリヘキサニド(PHMB)、 ウンデシルアミドプロピルベタイン、 グリセロール、ヒドロキシエチルセルロース、 精製水
使用方法	固定	◆二次ドレッシングで被覆する
	交換時期	◆創部の状態を確認して、適宜判断する
製品サイズ		◆30g

◎各製品の詳細は、メーカー作成の添付文書・パンフレット等でご確認ください。

皮膚欠損用創傷被覆材一覧表

◇本資料は作成年月日時点の情報に基づき作成した、「保険請求可能な皮膚欠損用創傷被覆材」をまとめた一覧表です。
◇表現は一部簡略化しています。最終確認は必ず電子添文等にてお願いします。
◇電子添文に「使用方法(固定、交換時期)」に関する情報が載っていないものについては、「-」と記載しています。

SZPA
2024年12月26日
スズケングループ(SDIC)作成

③筋・骨に至る創傷用

管理区分		高度管理医療機器	
一般的名称		深部体腔創傷被覆・保護材	
材質		親水性フォーム	
製品名		ベスキチンF(D)	ベスキチンF(N)
会社名		ニプロ	
成分		キチン(ポリ- <i>N</i> -アセチルグルコサミン)	キチン(ポリ- <i>N</i> -アセチルグルコサミン)
使用方法	固定	◆本品の上にガーゼをのせ、スキンテープ等で固定し、包帯で保護する	-
	交換時期	◆滲出液の多い場合や感染のおそれのあるものでは、3～4日おきに本品を交換する	-
製品サイズ		◆10cm×12cm	◆2cm×30cm

◎各製品の詳細は、メーカー作成の添付文書・パンフレット等でご確認ください。

<参考資料> 各製品電子添文、インタビューフォーム、パンフレット、各社問い合わせ窓口
創傷被覆・保護材等一覧(一般社団法人日本医療機器テクノロジー協会 創傷被覆材部会編 2024年6月1日改訂32版)

SDICM-001 (SZ)

居宅療養管理指導報告書

対象期間: 2025年9月1日 ~ 2025年9月30日

たすくホームクリニック

〒242-0003

神奈川県大和市林間1-5-7-201

TEL 046-206-7131 / FAX 046-206-7132

ご担当 ケアマネB 様

Care Plan Center B

〒100-0002 東京都千代田区皇居外苑2-2-2

田中花子 様

生年月日: 1945年5月14日

年齢: 80 歳

ご住所: 東京都新宿区2-2-2

診察日: 2025年7月15日

次回診察日:

介護度:

主病名: 高血圧

居宅療養管理指導内容・治療経過

診療内容

バイタルサインは、体温36.6℃、血圧138/87mmHg、脈拍74回/min、SpO2は98%(ra)で安定しています。

心音、呼吸音ともに異常なく、浮腫も見られません。

アルツハイマー型認知症に関しては、HDS-R 17点でBPSDはなく経過良好です。

高血圧は内服薬で安定しており、飲み忘れ也没有ありません。

居宅療養アドバイス・日常生活の注意点

☒ **高血圧生活指導:** 減塩食や適度な運動を心がけましょう。